

2022 年度 事業報告書

2023 年 5 月 30 日

社会福祉法人もえぎの会

目 次

I. 総括	… P2
II. 共通	
1. 重点課題	… P2
2. 苦情・相談対応	… P4
3. 防災・安全対策	… P5
4. 研修	… P7
5. 地域・関係機関との連携	… P9
6. 委員会報告	… P12
III. 施設別	
1. 本部	… P14
2. しいの実社	… P18
3. しいの実社 学芸大学スマイルプラザ	… P23
4. 沙羅の家	… P26
5. 短期入所	… P29
6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)	… P31

I. 総括

コロナ禍において、安全と事業継続、利用者支援を両立させて、必要に応じて新しい取り組みをしてきた。日常の活動の改善に加え、長期的視野で、事業運営を安定化させ、事業を継続するために、設備、活動、支援など必要な変更に着手し、成果を積み重ねている。この実践は、今後とも継続するためのスタッフの意識、活動の進め方などに向けた知識、経験が蓄積されてきた。

しいの実社においては、新たな利用者を継続して受け入れ、そのために活動の内容、利用者の仕事を変化させた。そのために、スタッフ体制の見直し、活動プログラムの見直し、活動場所の異動などに取り組んでいる。

利用者の高齢化・重度化が進み、家族の高齢化と併せて、課題を整理し、検討、実践を進めた。課題は多岐に渡るため、家族の協力、外部との連携を含めてひとつひとつ解決する必要がある。

沙羅の家の運営が独立して、安定運営に向けて進展させる取り組みをしている。しかし、スタッフ退職、入職が繰り返され、業務改善とともに、スタッフ体制の安定が必要な状況である。短期入所の稼働率を向上させるとともに、夜勤体制、週末稼働体制拡大を実施している。それにより、増加する短期入所の緊急受入れに対応するとともに、地域生活支援拠点事業のさらなる充実、利用者・家族の高齢化・重度化に対応する必要がある。

II. 共通

1. 重点課題

1. しいの実社、沙羅の家の連携強化

しいの実社、沙羅の家の連携強化により、法人運営を円滑にすべく行った施策として、

・家族会の統合

これまでそれぞれの施設で行っていた家族会を統合し、法人の家族会として会員に案内し、開催した。これまであまりできていなかった、沙羅の家のみを利用しているご家族にも法人運営状況を共有し、一体感が醸成された。

・研修の実施

法人研修として、事務局が主催する研修を年に5回実施した。一部沙羅の家・しいの実社の職員が同時に参加した研修もあったが、勤務時間の違いから基本的に施設毎の開催となった。

・スタッフの協力体制

沙羅の家の職員が不足することがあり、しいの実社・事務局職員が入るようにしている。

情報共有を円滑にするために両施設職員が活用できるサーバー上の掲示板に取り組んだが、その前に、2023年度は、人的交流を具体的に行うこととした。

2. 利用者・家族の高齢化に伴う対策の実施

プロジェクトチームを立ち上げ会議を6回開催し、情報共有、状況の整理、検討を重ねた。その結果、送迎を開始し、家族支援では、キーパーソン移行時の情報整理をし、関係者会議などに活用した。医療連携、多職種連携をし、経鼻経管栄養の利用者を受け入れたケースもあり「終の棲家」への実践を積み重ねた。

また、自立支援協議会(高齢部会)の参加や介護予防についての研修を実施した。

3. 沙羅の家の体制の強化およびサービスの拡充

2022年度は、短期入所の稼働率において、前年比での30%上昇となった。主な要因として、緊急短期入所の受け入れ増加と体験利用されている方の定期的な利用が増えたことが挙げられる。沙羅の家短期入所はグループホーム併設型なので、グループホーム入居を目指している利用者には良い体験となっているとの感想を多くいただいている。

現在週末は1床しか稼働できていないところを今後は2床稼働できるように体制を整備していく。

職員体制の強化は、入退職者が相次いだことと、新型コロナウイルス感染症の発生のため、通常シフトを組むことが難しい状態が続き、安定しない運営となった。高齢化や重度化は進んでおり、沙羅の家大岡山では認知症を発症している利用者が寝たきり状態で、日中活動への参加が困難になり、介護保険サービスを活用しながらのグループホームでの生活が始まった。他職種連携に伴う情報共有の難しさや自己負担金の増加など課題は多くあるが、「終の棲家」としてのグループホームの一例として実践を積み上げていく。2023年度以降も、重度化・高齢化に対応するための人材の確保は引き続き対策していく。

2. 苦情・相談対応

(1) 苦情・相談対応 苦情内容

	施設	苦情内容	対応内容
7月	しいの実社	さんまるしえから、配送職員がパンを落としたものを納品したのではないかという連絡。	番重の蓋が飛んでしまったためパンが濡れてしまったので、納品前に確認した。作業を車内ではなく床に置いて行ったため、誤解を受けてしまった。番重自体を床に直接おかないよう職員にも指導を行い、先方に改めて謝罪した。
7月	沙羅の家	短期入所の利用者ご家族から、刺青をした人が居室に入ってきて利用者が怖がり、次回以降利用をキャンセルしたいと話していると通所施設に申し出があったと連絡。	対応した応援職員の腕にポイントのタトゥーがあることを説明。他の職員に確認すると、その場でのやりとりにトラブルはなかったとのことだが、当該職員にも説明し、応援に入るときはタトゥーを露出しないこと、本人への挨拶をしたうえで支援に入ることなどを改めて確認した。通所施設からご家庭に説明してもらい、利用を再開していただいた。

3. 防災・安全対策

(1) 事故

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	喧嘩・紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	13	0	0	6	0	9	28
学大スマイル	0	0	0	0	14	0	3	17
沙羅の家	2	0	3	0	0	1	4	10
短期入所	0	0	0	0	0	0	1	1
支援拠点	0	0	0	0	0	0	2	2
計	2	13	3	0	20	1	19	58

(2) ひやりはっと

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	喧嘩・紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	11	0	0	5	0	21	37
学大スマイル	0	5	0	0	29	3	1	38
沙羅の家	1	3	4	0	0	0	4	12
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	1	1
計	0	19	4	0	34	3	27	88

(3) 【販売に関するもの】

	異物混入	表示	品質	賞味期限	金銭	その他	計
苦情	0	0	0	0	0	0	0
事故	2	0	0	0	0	0	2
ひやり	0	0	0	0	0	0	0

(4) 防災訓練

施設名	実施日	内 容
しいの実社	5月27日	避難訓練(通報のシミュレーション)
沙羅の家 (全ユニット)	8月11日	避難訓練(緊急時集合場所の確認、非常食の実食体験)
沙羅の家 (全ユニット)	2月23日	避難訓練(緊急時集合場所の確認、停電体験)
スマイルプラザ	3月22日	全館避難訓練
しいの実社	3月31日	避難訓練(全体の流れシミュレーション)

4. 研修

(1) 外部研修 (全て ZOOM)

実施日	施設名	研修名	実施主体	参加人数
5/21	しいの実社	介助付きコミュニケーション研修	筆談の会	2人
6/10	しいの実社	新任職員研修	東京都社会福祉協議会	1人
7/7	しいの実社	強度行動障害支援指導者養成研修	強度行動障害支援指導者養成研修特別委員会	2人
8/31	しいの実社	福祉職員職務階層別研修 令和4年度初任者研修	東京都社会福祉協議会	1人
10/26	しいの実社	看取りを学び考える	東京都社会福祉協議会	3人
11/18・21	しいの実社 沙羅の家	強度行動障害支援者養成研修	東京都	2人
1/13	しいの実社	嚙下調整食 学会分類 2021 の実践	東京都社会福祉協議会	1人
2/9	しいの実社	サービス管理責任者研修	東京都	1人
2/10	しいの実社	令和4年度新任職員向け研修	東京都社会福祉協議会	2人
11/7・8	事務局	福祉職員職務階層別研修 令和4年度中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	1人
5/27	沙羅の家	措置が終わって20年～変わった事、変わらなかった事～	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1人
8/11、1/10	沙羅の家	障害者グループホーム従事者基礎研修	東京都	3人
9/28	沙羅の家	支援者のメンタルヘルスの問題と対人支援サービスの在り方を考える	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1人

(2) 内部研修

実施日	施設名	研修内容	対象者	講師
5/2、8/2	しいの実社・学芸大学スマイルプラザ	創設のおもい、もえぎの会の支援についてなど	新入職員	小平施設長
8/2	しいの実社・学芸大学スマイルプラザ	同期紹介、感染症対策、事務業務について	1年目職員	小平施設長
6/11・22・24	しいの実社・学大スマイル・沙羅の家・事務局 (内部職員研修)	もえぎの会や職員に地域が求める役割	正規職員	目黒障害者就労支援センター 事務局長 白鳥千恵子氏
7/6・11・14・26		支援について	正規職員・パートスタッフ(希望者)	小平施設長
8/10・18・22		グループホーム・地域生活支援拠点の業務について	正規職員	長谷施設長 会田課長
10/5・7・13		目黒区の障害福祉サービス	正規職員	目黒障害者就労支援センター 事務局長 白鳥千恵子氏
12/2・8・9・21・22		障害の理解	正規職員・パートスタッフ(希望者)	小平施設長
1/13	法人全体 (ZOOM)	福祉施設職員のストレスケア	全職員	東洋大学客員研究院 (東京都登録講師) 関屋 光泰氏
6/3、7/22、 8/26、10/28 12/23、1/27 2/24	しいの実社・学大スマイル・沙羅の家・事務局 (内部職員研修)	管理監督者としての抱負を語り合う、自分が求めるリーダー像・職員像、自分の仕事の意義・組織について語り合う 他(全7回)	管理職員	目黒障害者就労支援センター 事務局長 白鳥千恵子氏

5. 地域・関係機関との連携

(1) 実習・体験・見学

実施日	受入施設名	実習・見学等依頼先	人数
4/27	しいの実社	映画作成の参考に	1人
5/25、6/6、 10/13、7/6、 3/27	しいの実社・学大スマイル	見学。特別支援学校生保護者・生徒・通所先探し・将来の進路選び	10人
6/9	しいの実社	ボランティア事前見学	3人
10/11	しいの実社	丸紅基金 派遣職員の様子を見学	1人
3/29	しいの実社	実習候補先選定のための事前見学	3人
7/22、10/28、 3/20	電話相談	受け入れ先の候補探し	3人

(2) 相談支援事業所利用実績

事業所名	たんぼぼ	あいアイ館	リタリコ	目黒相談支援センター	架け橋	ケアプラン	その他	他区	なし	合計
人数	24	13	8	8	2	2	4	2	2	65

(3) 広報紙「萌木」の発行（事務局）

- ① 対象者 行政、議会、学校、関係機関、利用者、家族、ボランティア、後援会会員等
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 750部
- ④ 内容 【4月号】
 - ・巻頭文：健康福祉部 部長 竹内 聡子氏
 - ・ 2022年度事業計画 ・理事長 FM 出演
 - ・ 第20回 ウィズコロナのリモートしいの実祭報告
 - ・ 「八芳園」日帰り外出（研修旅行代替企画）
 - ・ 後援会会員インタビュー
ぼっしゅべる、すし屋の芳勤、(株)フォークロア
 - ・ 沙羅の家 生活状況、研修参加報告

【10月号】

- 巻頭文:目黒区社会福祉事業団 理事長 鈴木勝氏
- 事業報告会コンサート報告
- 雅叙園食事会報告
- 後援会会員インタビュー
ゼネラルボンド、あんどろ内科クリニック、ひもんや内科消化器科
- 沙羅の家 生活状況、避難訓練報告

(4) 通信「しいの実通信」の発行

- ①. 対象者 利用者、家族
- ②. 発行時期 5月、10月、1月
- ③. 発行部数 70部
- ④. 内容 5月
 - 業務課長挨拶
 - 新入社員紹介
 - 新入職員紹介
 - 部門紹介
 - スタッフ通信

10月

- 食事会報告
- 新入職員紹介
- 日常の様子を紹介

1月

- 巻頭文:理事長・施設長
- リモートしいの実祭報告
- スタッフ紹介
- ある朝の風景紹介

(6) 後援会だよりの発行(発行 後援会)

- ① 対象者 後援会員
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 600部
- ④ 内容 【4月号】
 - 巻頭:会長挨拶
 - HappyJapanProject様 寄付報告
 - 第20回 しいの実祭報告
~ウイズコロナのリモートしいの実祭~【10月号】
 - 巻頭:会長挨拶
 - 事業報告会報告
 - もえぎの会行事支援
 - 後援会 2021年度収支決算報告/2022年度収支予算

(7) 事業報告会

事業報告会

実施月日	7月16日(土)
実施場所	こぶしえん
参加者	56名(会員23名、招待者4名、ご家族11名、利用者5名、職員13名)

しいの実社カタログ販売

実施月日	6月23日~8月12日
送付先	後援会員および法人関係者
実績金額	279,000円(うち寄付73,900円)

利用者向け企画としてMGK(ムジークガルテン・クロキ)の協力により、コンサート実施

実施月日	8月20日(土)
実施場所	目黒本町社会教育館
参加者	利用者38人・スタッフ10人

6. 委員会

(1) 安全衛生委員会

法人として職場環境、利用者・職員の安全衛生について実施要綱に基づき運営した。

必要に応じて不定期に開催していたが、2022年10月より毎月開催することとした。

月日	主な内容	出席人数
10/11	新型コロナウイルス発生状況、対策について 療養期間等の更新について	9人(うち委員6名)
11/8	感染症発生状況報告、BCP研修報告	10人(うち委員7名)
12/13	新型コロナウイルス発生状況確認	8人(うち委員7名)
1/10	ワクチン接種状況、ノロウイルスの対応・処理方法について	10人(うち委員7名)
2/14	感染症について、報告様式の確認	9人(うち委員7名)
3/14	感染症について(マスク着用方針)、ひやりはっと分類について、職員の労働環境を中心とした安全衛生の他法人取り組み紹介	9人(うち委員6名)

(2) 虐待防止および身体拘束適正化委員会

虐待を防止し、虐待の発生しない職場を維持するため。可能な限り身体拘束しない施設運営を維持し、やむなく実施する必要がある場合は、適正に処理するように運営した。

月日	主な内容	出席人数
4/12	2022 年度虐待防止体制、研修について 身体拘束適正化委員会 概要確認	9 人(うち委員 7 名)
5/10	2022 年度年間予定、チェックリスト集計結果、研修について 身体拘束適正化委員会 該当なし	8 人(うち委員 6 名)
6/15	2022 年度研修スケジュールについて 身体拘束適正化委員会 該当なし	8 人(うち委員 6 名)
7/12	運営規程について、2022 年度虐待防止研修について 身体拘束適正化委員会 該当なし	7 人(うち委員 5 名)
8/10	運営規程について、研修案について 身体拘束適正化委員会 該当なし	8 人(うち委員 7 名)
9/13	研修について、チェックリストについて 身体拘束適正化委員会 該当なし	8 人(うち委員 6 名)
10/11	チェックリストの実施について、虐待防止研修について 身体拘束適正化委員会 該当なし	9 人(うち委員 6 名)
11/8	研修について 身体拘束の適正化委員会:Wさん退院に向けて必要な書類等準備	10 人(うち委員 7 名)
12/13	2022 年度虐待防止研修役割分担、チェックリスト集計結果 身体拘束適正化委員会 該当なし	9 人(うち委員 6 名)
1/11	1/20 虐待防止研修最終確認 身体拘束適正化委員会 該当なし	10 人(うち委員 7 名)
2/14	チェックリスト分析 虐待防止研修振り返り 身体拘束適正化委員会 該当なし	9 人(うち委員 7 名)
3/14	2023 年度体制確認 身体拘束の適正化委員会:Wさんベッド 4 点柵について * 関係者会議にて確認、記録あり。	8 人(うち委員 6 名)

(3) 研修委員会

2023 年度から立ち上げた。具体的に研修計画立案、実施するために運営する。

III. 施設別

1. 本部

法人総務を司り、各施設と連携をとりながら運営を進めた。次年度の重点課題である本部機能の強化に向けてしいの実社の施設事務の移管を検討し、準備を進めてきた。

(1) スタッフの異動

	本部					しいの実社				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	2	0	0	0	2	13	1	0	0	12
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	6	2	0	1	5	4	0	0	2	6
計	8	2	0	1	7	17	1	0	2	18

	しいの実社学芸大学スマイルプラザ					沙羅の家				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	5	1	0	1	5	20	5	0	6	21
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	10	2	0	2	10	9	3	0	4	10
計	15	3	0	3	15	29	8	0	10	31

	合 計				
	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	40	7	0	7	40
契 約	0	0	0	0	0
パ ー ト	29	7	0	9	31
計	69	14	0	16	71

(2) 会議運営

① 理事会

開催日	主な内容	出席人数
5/31	2021 年度事業報告、2021 年度決算、評議員会開催	理事 6 人 監事 2 人
10/25	2022 年度上半期事業報告、補正予算、評議員会開催	理事 7 人 監事 2 人
3/7	2023 年度事業計画、予算案、評議員会開催、積立金管理、ランチ業者選定について	理事 7 人 監事 1 人

② 評議員会

開催日	主な内容	出席人数
6/21	2021 年度事業報告、2021 年度決算	評議員 7 人 監事 2 人
11/15	2022 年度上半期事業報告、補正予算	評議員 8 人 監事 1 人
3/28	2023 年度事業計画、予算案	評議員 8 人 監事 2 人

③ 評議員選任解任委員会

2022 年度開催なし

④ 後援会(役員会)

開催日	主な内容	出席人数
6/7	もえぎの会 2021 年度事業報告・決算報告(案)、後援会 2021 年度事業計画・予算、事業報告会・総会の開催方法	役員 3 人 運営委員 9 人
9/7	会員募集状況、カタログ販売・事業報告会・演奏会の報告、広報、しいの実祭検討	役員 4 人 運営委員 9 人
12/6	会員募集状況、リモートしいの実祭報告・反省	役員 3 人 運営委員 10 人
3/7	2023 年度もえぎの会事業計画案、後援会総会について	役員 2 人 運営委員 8 人

⑤ 後援会(運営委員会)

開催日	主な内容	出席人数
4/5	事業報告会・総会について、会員目標について	運営委員 8人
5/10	会員募集状況等確認、総会の開催可否について	運営委員 9人
7/5	会員募集状況等、しいの実社カタログ販売の報告、総会・事業報告会について、演奏会について、広報について	運営委員 9人
8/2	会員募集状況、事業報告会振り返り、販売促進について	運営委員 7人
10/8	会員募集状況、広報発送、しいの実祭について	運営委員 6人
11/1	会員募集状況、しいの実祭について	運営委員 11人
1/10	会員募集状況、年賀状、広報について	運営委員 9人
2/7	会員募集状況、広報について	運営委員 7人

⑥ 幹部会

開催月	主な内容
4/12	理事会準備スケジュール確認、重点課題について、家族会について
5/10	理事会について、各部門より、管理職研修について
6/14	評議員会について、事業報告会について、重点課題・各部門からの報告
7/13	事業報告会について(流れの確認) 採用について
8/9	理事長より、各部門より
9/13	重点課題の進捗状況
10/11	理事会準備スケジュール確認、重点課題について
11/8	理事会について、各部門より、重点課題進捗について
12/13	各部門より、重点課題進捗について
1/10	理事会について、各部門より、重点課題進捗について
2/14	理事会について、給与改訂について、重点課題について
3/14	重点課題の進捗状況、有給休暇の取得状況

(3)家族会

2022 年度より、もえぎの会家族会としてしいの実社と沙羅の家の家族会を統合し、開催した。

	月日	出席人数	主な内容
第1回	4/11(月)	33 人	年間予定、スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等
第2回	7/4(月)	31 人	スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等
第3回	10/3(月)	24 人	スタッフ体制、法人運営、研修報告、各施設運営状況の報告等
第4回	1/23(月)	26 人	スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等
第5回	3/6(月)	25 人	利用者状況、スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等

2. しいの実社

新型コロナウイルス対策として工夫をして始めたことが安定、定着した。知恵を出し合い発行したカタログが好評を得て、新たな発信方法として、定着してきた。引っ越しなどにより利用者の在籍者数の推移があった。

(1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等		生活介護	就労継続 B	計
性別	男	18 人	7 人	25 人
	女	6 人	2 人	8 人
	計	24 人	9 人	33 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	0 人	1 人	1 人
	30 代	7 人	2 人	9 人
	40 代	7 人	2 人	9 人
	50 代	10 人	4 人	14 人
	60 代	0 人	0 人	0 人
	70 以上	0 人	0 人	0 人
	計	24 人	9 人	33 人
愛の手帳	2 度	13 人	1 人	14 人
	3 度	10 人	5 人	15 人
	4 度	1 人	3 人	4 人
	計	24 人	9 人	33 人
障害支援区分	未判定	0 人	0 人	0 人
	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	0 人	0 人	0 人
	区分 3	0 人	4 人	4 人
	区分 4	13 人	2 人	15 人
	区分 5	8 人	1 人	9 人
	区分 6	3 人	2 人	5 人
	計	24 人	9 人	33 人

(2) 利用状況

				2022 年度	2021 年度	2020 年度
生活介護	開所日数	土曜開所	有	253	251	248
			無	242	241	242
	延べ利用人数	土曜開所	有	5900	5877	5837
			無	5732	5732	5749
	平均利用人数/日	土曜開所	有	23.3 人/日	23.4 人/日	23.5 人/日
			無	23.7 人/日	23.8 人/日	23.8 人/日
	出社率	土曜開所	有	97.2%	97.6%	94.1%
			無	98.7%	99.1%	95.0%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	253	251	248
			無	242	241	242
	延べ利用人数	土曜開所	有	2219	2167	2288
			無	2162	2108	2250
	平均利用人数/日	土曜開所	有	8.8 人/日	8.6 人/日	9.2 人/日
			無	8.9 人/日	8.7 人/日	9.3 人/日
	出社率	土曜開所	有	94.3%	95.9%	92.3%
			無	96.1%	97.2%	93.0%

* 2020 年実績より、出社率の母数を定員から実人員に変更

(3) 利用者工賃

単位：円

		給料 (賞与含む)	1 人当たり	
			年額	月額
2022 年度	生活介護	6,352,200	264,675	22,056
	就労継続 B	2,092,950	251,840	20,987
2021 年度	生活介護	6,571,870	273,827	22,818
	就労継続 B	2,324,780	258,308	21,525
2020 年度	生活介護	6,483,650	270,152	22,512
	就労継続 B	2,451,980	245,198	20,433

(4) 販売

単位：円

年 度		店 舗			施設外販売		計
		しいの実社	学芸大学	さんまるしえ	イベント	区役所	
2 0 2	営業日	241日	240日	297日	9日	23日	808日
	売上額	5,687,714	13,387,420	3,154,630	1,469,330	882,670	24,581,764
	平均日額	23,600	55,781	10,621	163,258	38,377	30,423
2 0 2	営業日	235日	235日	298日	2日	19日	789日
	売上額	5,337,501	14,006,630	2,915,310	1,425,100	648,080	24,332,621
	平均日額	22,712	59,602	9,782	712,550	34,109	30,839
2 0 2	営業日	241日	241日	297日	2日	13日	794日
	売上額	5,260,200	12,456,480	3,100,920	846,570	456,760	22,120,930
	平均日額	21,827	51,687	10,441	423,285	35,138	27,860

(5) 土曜日開所プログラム

実施日	主な内容	参加人数
4/16	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 29 人、スタッフ 6 人
5/21	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 31 人、スタッフ 6 人
6/18	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 27 人、スタッフ 6 人、実習生 1
7/23	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 27 人、スタッフ 6 人
8/20	社協館音楽鑑賞会・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 10 人
9/17	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 6 人
10/15	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 30 人、スタッフ 6 人
12/17	音楽鑑賞・昼食(モスバーガー寄付)	社員 35 人、スタッフ 7 人、ボランティア他 5 名
1/21	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 6 人
2/18	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 22 人、スタッフ 6 人
3/18	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 6 人

(6) 年間行事

• 宿泊研修旅行→雅叙園食事会

実施月日	8月26日(金)・9月2日(金)・9日(金)
実施場所	雅叙園 宿泊研修旅行の代案として3回に分けて企画・実施。 マイクロバスを使用し、密を避け感染症対策を徹底した上で実施した。和洋食のメニューどちらかを選ぶ形式とした。
参加者	社員55人・スタッフ25人

• しいの実祭

実施月日	11月26日(土)
実施内容	毎回好評のウィズコロナリモートしいの実祭のカタログは「SDGs」を主題とし発行した。11月26日(土)には、近隣の白川電機様や五十嵐電機様の駐車場などで感染対策をしながらバザーや天ぷら割烹かわさきさんによる揚げたて天ぷら販売を再開し、昨年より規模を拡大した。しいの実社製品販売は屋外で実施し、店舗の臨時開店をした。利用者は、通常の作業を基本にバルーンアートや買い物、お祭りメニューランチなどイベントを味わえる企画を盛り込みオンライン打ち上げとして ZOOM で各階をつないでジュースとお菓子で打ち上げを楽しんだ。当日は雨天でのスタートとなったが多くの方に来ていただき盛況に終わった。
参加者	社員52人・スタッフ37人・ボランティア9人 合計参加者98人

(7) スタッフ会議

① 運営会議

	主な内容
4/19	ZOOM 和田理事より(高齢化について)、施設長より、業務課長より、虐待防止について、
6/28	ZOOM 施設長より、2022 年度事業報告、決算、重点課題、工賃について
8/17	ZOOM コロナ対策、2022 年度重点課題、業務課長より、沙羅バックアップ施設
10/18	ZOOM 和田理事より(支援について)、2022 年度重点課題、安全衛生委員会について、手順書について
12/21	ZOOM 2022 年度事業報告、決算、重点課題、安全衛生委員会について、虐待防止委員会について
2/21	ZOOM 介護予防「フレイル」包括支援センター研修、2022 年度重点課題、2023 年度事業計画、予算、新入社員受け入れについて、安全衛生委員会について、虐待防止委員会について

② チーフ会議

	主な内容
5/19	理事長より(高齢化について)、事業計画について、高齢化ケース共有について、定員と在籍について
7/20	重点課題について、チーフ業務について、部門情報共有
9/21	ウイズコロナリモートしいの実祭について、重点課題について、新型コロナウイルス感染対策について
11/22	ウイズコロナリモートしいの実祭について、重点課題について、部門情報共有
1/17	重点課題について、小口管理について、部門情報共有
2/1	(臨時)定員と在籍について、社員ローテーション調整
3/17	(臨時)2023 年度事業計画、スタッフ体制について、社員ローテーション調整
3/29	白鳥さん(育成について)、重点課題について、スタッフ体制、社員担当について

3. しいの実社学芸大学スマイルプラザ

今年度は例年よりも実習の希望が多く、特に田園調布特別支援学校からは5人の実習を受け入れた。また、就労移行の利用者も受け入れ、昨年以上に利用者が増加したことにより学大ショップで、作業する人数、時間を増やすことでさらなる活用を進めた。

(1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等		就労継続B	就労移行	計
性別	男	13人	2人	15人
	女	7人	1人	8人
	計	20人	3人	23人
年代別	10代	0人	1人	1人
	20代	5人	1人	6人
	30代	6人	1人	7人
	40代	2人	0人	2人
	50代	3人	0人	3人
	60代	0人	0人	0人
	70以上	4人	0人	4人
	計	20人	3人	23人
愛の手帳	2度	6人	0人	6人
	3度	10人	1人	11人
	4度	4人	2人	6人
	計	20人	3人	23人
障害支援区分	未判定	0人	0人	0人
	区分1	0人	0人	0人
	区分2	1人	1人	2人
	区分3	8人	1人	9人
	区分4	9人	1人	10人
	区分5	1人	0人	1人
	区分6	1人	0人	1人
	計	20人	3人	23人

(2) 利用状況

				2022年度	2021年度	2020年度
就労移行	開所日数	土曜開所	有	253	251	249
			無	243	241	241
	延べ利用人数	土曜開所	有	722	457	139
			無	713	453	138
	平均利用人数/日	土曜開所	有	2.9人/日	1.8人/日	0.5人/日
			無	2.9人/日	1.9人/日	0.5人/日
出社率	土曜開所	有	95.1%	84.3%	50%	
		無	97.8%	87.0%	57%	
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	253	251	249
			無	243	241	241
	延べ利用人数	土曜開所	有	4476	4807	4770
			無	4557	4721	4734
	平均利用人数/日	土曜開所	有	17.6人/日	19.1人/日	19.1人/日
			無	18.7人/日	19.6人/日	19.6人/日
出社率	土曜開所	有	88.0%	95.7%	95.5%	
		無	93.5%	97.9%	98%	

* 2020年実績より、出社率の母数を定員から実人員に変更

(3) 利用者工賃

	事業名	総支給額 (賞与含む)	1人当たり	
			年額	月額
2022年度	就労移行	721,378	228,284	19,024
	就労継続B	4,907,700	244,197	20,350
2021年度	就労移行	411,750	190,625	15,885
	就労継続B	5,000,600	250,030	20,835
2020年度	就労移行	87,000	87,000	12,429
	就労継続B	5,174,650	258,733	21,561

(4) 販売

※しいの実社に記載

(5) 土曜日開所プログラム

※しいの実社と同様

(6) 年間行事

① 宿泊研修旅行・② 日帰り研修旅行

※しいの実社と同様、雅叙園外出を実施

(7) スタッフ会議

① 運営会議

※しいの実社と同様

② チーフ会議

※しいの実社と同様

4. 沙羅の家

2022 年度は、沙羅の家大岡山で、70 歳代の認知症を発症した利用者が寝たきり状態になり、通所が困難になったため、障害サービスと介護保険を併用したサービスプランを構築し、利用者の終の棲家の選択肢の一つとなるべく取り組みが始まった。

また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して運営を行ったが、8 月に沙羅の家大岡山で利用者職員合わせて 10 名のクラスターが発生。また、9 月には沙羅の家清水の短期入所利用者が感染源と思われるクラスターが発生し、兼務スタッフを介して沙羅の家清水 B・清水 C で利用者職員合わせて 7 名の陽性者が発生し、11 月には沙羅の家向原・清水 B で陽性者が発生し、一時グループホームの運営を縮小することになった。

さらに 2022 年度は、年度当初 29 名の職員体制でスタートしたが、年度内に延べ 12 名が退職してしまい、入退職が相次いだことと、新型コロナウイルス感染症対応の為に通常のシフトが組めない等、職員体制が安定しない 1 年であった。

(1) 利用者状況

① 性別・年代別

性別			年代別							
男	女	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
32人	6人	38人	0人	0人	5人	8人	17人	4人	4人	38人

② 障害種別等

愛の手帳				障害支援区分					
2度	3度	4度	計	2	3	4	5	6	計
15人	15人	8人	38人	1人	6人	18人	9人	4人	38人

③ 居住年数

居住年数					
1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
0人	2人	14人	10人	12人	38人

(2) 年間行事(外出プログラム)

実施日	施設	内 容	参加人数
8/11	沙羅の家	防災訓練(地震を想定した避難訓練)	8名
8/11	沙羅の家向原	防災訓練(火事を想定した避難訓練)	10名
8/11	沙羅の家大岡山	防災訓練(火事を想定した避難訓練)	9名
8/11	沙羅の家清水 A	防災訓練(緊急集合場所の確認)	7名
8/11	沙羅の家清水 B	防災訓練(緊急集合場所の確認)	3名
8/11	沙羅の家清水 C	防災訓練(緊急集合場所の確認)	4名
11/3	全ユニット	合同外出イベント BBQ@お台場	54名
11/23	沙羅の家	ランチイベント(腕相撲大会)	6名
11/23	沙羅の家向原	散歩	10名
11/23	沙羅の家大岡山	外食(ガスト)	7名
11/23	沙羅の家清水 A	お楽しみランチ	9名
2/23	沙羅の家	防災訓練(火災を想定した避難訓練)	7名
2/23	沙羅の家向原	防災訓練(災害時の食事体験)	10名
2/23	沙羅の家大岡山	防災訓練(一時・広域避難所の確認)	7名
2/23	沙羅の家清水 A	防災訓練(非常食体験)	7名
2/23	沙羅の家清水 B	防災訓練(避難場所まで避難)	5名
2/23	沙羅の家清水 C	防災訓練(避難場所まで避難)	4名
3/21	沙羅の家	ランチイベント(落語会)	7名
3/21	沙羅の家向原	散歩、店屋物夕食	9名
3/21	沙羅の家清水 A	林試の森公園でのランチ	8名

(3) スタッフ会議

① 運営会議

	内 容
4 月	ZOOM 2022 年度重点課題、虐待防止規程、虐待防止体制、苦情解決体制、倫理綱領の確認。
6 月	ZOOM 祝日イベントについて、新型コロナウイルス感染症について(ワクチン接種について)、ヒヤリハット・事故報告の確認、事業報告会について
8 月	ZOOM スタッフ体制の確認、高齢対策 PT の報告
10 月	ZOOM 合同外出イベントについて、新型コロナウイルス感染症の報告、ストレスチェックの実施について
12 月	ZOOM 新型コロナウイルス感染症について、虐待防止研修について
2 月	ZOOM 職員体制について、第 2 回防災訓練について、高齢対策 PT の報告

② チーフ会議

	内 容
5 月	業務分担表の作成について、家族会・家族懇親会の開催について、「業務日誌・サービス提供記録」「ケース記録」の改良について
7 月	重点改題の取り組みについて、各ユニット意見交換・課題共有
9 月	新型コロナウイルス感染症について、各ユニットの近況報告・情報共有
11 月	体調不良時の対応の再確認、業務支援記録ソフト(knowbe)の導入について、年末年始などの予定・シフトの確認
1 月	請求事務と knowbe について、次年度の職員体制について
3 月	次年度について(年間予定、係)、36 協定について

5. 短期入所

前年度はコロナ禍による受入れ制限を実施したことで、利用率は微増となったが、今年度は制限なく受入れを行い、着実にリピーターも増え、大幅な利用率アップとなった。

(1) 利用実績

月	利用種別	利用人数		利用日数		利用率	
		2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年
4月	体験	13	15	25	38		
	緊急	0	1	0	3		
	計	13	16	25	41	41.7%	68.3%
5月	体験	8	13	20	31		
	緊急	0	4	0	11		
	計	8	17	20	42	32.3%	67.7%
6月	体験	13	11	31	27		
	緊急	5	6	10	15		
	計	18	17	41	42	68.3%	70.0%
7月	体験	10	14	24	36		
	緊急	1	10	2	25		
	計	11	24	26	61	41.9%	98.4%
8月	体験	12	14	28	37		
	緊急	1	5	4	14		
	計	13	19	32	51	51.6%	82.3%
9月	体験	12	14	30	36		
	緊急	1	4	2	9		
	計	13	18	32	45	53.3%	75.0%
10月	体験	10	15	26	35		
	緊急	2	3	5	10		
	計	12	18	31	45	50.0%	72.6%
11月	体験	9	15	22	40		
	緊急	2	4	5	8		
	計	11	19	27	48	45.0%	80.0%
12月	体験	11	19	28	46		
	緊急	3	1	9	2		
	計	14	20	37	48	59.7%	77.4%

月	利用種別	利用人数		利用日数		利用率	
		2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年
1月	体験	7	15	19	39		
	緊急	2	4	4	10		
	計	9	19	23	49	37.1%	79.0%
2月	体験	3	18	6	44		
	緊急	2	0	6	0		
	計	5	18	12	44	21.4%	78.6%
3月	体験	14	21	33	52		
	緊急	3	1	7	3		
	計	17	22	40	55	64.5%	88.7%
合計	体験	122	184	292	461		
	緊急	22	43	54	110		
	合計	144	227	346	571	47.4%	78.2%

(2) 利用者の障害種別

単位 人

障害種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
知的	16	17	17	17	19	18	18	19	20	19	18	22	220
身体	0	2	1	2	1	1	0	1	1	1	1	2	13
精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	19	18	19	20	19	18	20	21	20	19	24	233

(3) 緊急利用の理由

レスパイト	18件
冠婚葬祭	2件
介護者の通院・入院等	7件
家族との一時的分離	2件
その他	8件

6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)

2018年の開設から5年が経過し、相談件数や対応件数がかなり増えてきており、8050問題に象徴されるご家族の高齢化による相談が地域生活支援拠点でも目立ってきた。地域包括支援センターなどと連携しながら、地域生活支援拠点の本来の役割である「障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた、地域生活を続けるための体制」を今後さらに力を入れて取り組んでいく。また、緊急の短期入所利用の依頼により、それに関わる連絡・相談等が相談支援事業を始めとした関係先との間で増加している。

(1) 相談・支援件数

単位 人

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
2022	相談	実人数	31	23	31	39	43	40	40	38	45	42	47	39	458
		延人数	72	72	61	75	122	78	78	92	90	100	86	104	1030
	支援	実人数	17	26	17	24	17	21	14	11	17	15	18	14	211
		延人数	29	51	37	42	47	29	29	35	38	41	35	42	455
2021	相談	実人数	33	21	29	26	24	29	38	19	22	35	38	29	343
		延人数	74	38	111	70	60	128	84	54	64	91	77	85	936
	支援	実人数	9	9	11	11	8	9	12	6	8	6	11	10	110
		延人数	26	19	51	34	32	73	31	29	24	26	35	34	414

(2) 相談者の障害種別

種別	身体	知的	精神	児童	その他	重複	不明	合計
人数	8	371	41	0	3	9	5	455

※障害種別は本人・家族のみを対象としている。

※その他には、アルコール依存症の方からの相談が含まれている。

(3) 主な相談内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	99
2	短期入所	544
3	体調	136
4	福祉サービス	353
5	日常生活	181
6	金銭管理	66
7	家族関係	193
8	人間関係	38
9	職場施設	183
10	近隣関係	2
11	その他	304
	合計	2099

(4) 主な支援内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	12
2	安否確認	2
3	見守り	2
4	家庭訪問	1
5	付き添い	14
6	傾聴助言	623
7	相談継続	33
8	紹介	9
9	その他	539
	合計	1255

(5) 研修

実施日	研修名	実施主体	参加数
7/21	相談支援専門員現任研修・実習	東京都	1名
8/1(月)	相談支援専門員現任研修	東京都	1名
8/2(火)	相談支援専門員現任研修	東京都	1名
10/18(火)	虐待防止研修	目黒区基幹相談支援センター	2名
11/22(火)	権利擁護研修	目黒区基幹相談支援センター	2名
1/27(金)	地域移行関係職員に対する研修 (オンデマンド)		1名
1/30(月)	親なき後の障害者支援(オンライン)		1名
3/3(金)	「認知症の人の入院」		1名

(6) 見学

なし

